

# 『伏見区総合庁舎整備』ワークショップ通信

第3号 平成20年3月1日 発行

## 第3回ワークショップ「新総合庁舎を楽しもう」を実施しました！

12月15日（土）に、伏見保健所講堂で第3回ワークショップを実施しました。当日は市民・スタッフ合わせて50名が集まり、事業者からの具体案の説明後、その評価について意見を交わしました。新総合庁舎の設計に対する取りまとめとしての意見や要望をいただき、活発な議論を行いました。次回のワークショップは、いよいよその成果発表となります。

### ワークショップスケジュール(全4回開催)

済

#### 第1回 「新総合庁舎案をのぞいてみよう」

平成19年11月11日(日)

開催時間：14:00～

場所：伏見保健所講堂

済

#### 第2回 「新総合庁舎を語ろう」

平成19年11月25日(日)

開催時間：14:00～

場所：伏見保健所講堂

済

#### 第3回 「新総合庁舎を楽しもう」

平成19年12月15日(土)

開催時間：14:00～

場所：伏見保健所講堂

#### 第4回 「設計図面で確認しよう」

平成20年3月23日(日)

開催時間：14:00～

場所：伏見保健所講堂

### 第3回ワークショップのプログラム

14:00 開会

14:03 第2回ワークショップの振り返り

14:10 意見・要望に対する具体案の説明

14:40 ワークショップ

「新総合庁舎を楽しもう」

15:40 発表

15:55 講評

16:00 閉会

### 第3回ワークショップの概要

- ファシリテーターの奈良磐雄先生から、第2回ワークショップの振り返りと今回のワークショップの説明がありました。
- これまでのワークショップにおける参加者から出された意見や要望を踏まえた具体案が事業者から提示され、その内容について説明が行われました。
- ワークショップでは、事業者の具体案に対する評価を行い、その結果を基に、意見・要望が十分に反映されていない項目などについて議論を行いました。その後、各班の代表者が評価結果とそれに基づく意見を発表し、むすびとして奈良先生が講評と、この日のまとめを行いました。

# 具体案の説明 — これまでの意見・要望を踏まえて —

## 外観

- ・伏見らしさを象徴できるように街路樹には柳を採用します。
- ・庇の色は酒蔵をイメージした灰色とします。
- ・伏見桃山にちなんでシンボルツリーは花桃とします。

## 外構計画

- ・雨天時のために、車いす駐車場の庇を車寄せまで延長します。
- ・タクシーの乗降場所を設定します。
- ・歩行者の安全のために駐車場内の歩行通路を表示します。

## 1 階

- ・区民ロビーは展示コーナーと談話コーナーで構成します。
- ・多目的ホールは講演・研修などの会議室利用を中心とし、展示パネルや机上での展示も想定しています。

## 2階・3階

- ・主階段の手すりは高低の2段とし、下の手すりは誰でも握りやすいように細くします。
- ・階段の手すり部は足元が見えないように変更します。

## 4 階

- ・会議室は多様な利用に対応できるように、中・小会議室と自由でオープンな打合せスペースを計画し、会議室のうち1室は、靴を脱いで入る床仕様とします。

## ユニバーサルデザイン

- ・東西エントランス、総合案内表示、各階案内表示、エレベーターに音声案内装置を設置します。
- ・表示ディスプレイと各階の掲示板に催し案内を行うほか、総合案内表示に問い合わせ用インターホンを組み込みます。
- ・多目的ホールと4階市民交流会議室に赤外線補聴システムを設置します。
- ・災害時の避難誘導として警告音とフラッシュ(点滅光)の装置を設置します。



# ワークショップでは市民交流スペースの具体案を評価・議論しました

## ●具体案が意見・要望を踏まえたかどうかを評価しました

これまで「新総合庁舎案をのぞいてみよう」「新総合庁舎を語ろう」をテーマに、市民の皆様がより親しみやすく利用しやすい区役所を目指して議論を重ねてきました。今回は、事業者から提示された具体案がこれまでの意見・要望を反映しているかどうかを参加者の方々に判断していただくもので、その結果をもとに実施設計を行います。

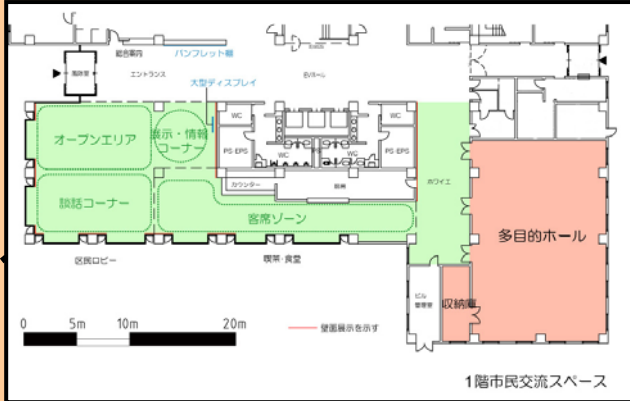
- ・事業者の具体案のうち、「区民ロビー」「多目的ホール」「会議室」で構成する市民交流スペースについて、あらかじめ15の評価項目を設定しました。参加者は評価項目に対し、『賛成』の場合は●印、『反対』の場合は●印を評価ボードにマークすることによって、具体案を評価しました。
- ・評価の結果は全体的に●印が多いものの、●印もみられました。

区民ロビー		評価項目	賛成	反対
考え方	●親しめる区役所また伏見らしさが感じられるロビーとして、身近に交流できるゾーンと伏見らしさを区内外に情報発信できるゾーンを想定しました。			
展開	●談話(交流)と展示(情報発信)のゾーンを設け、展示ゾーンは壁面に加えロビーでの展示を想定しています。			
	●談話ゾーンは待ち合わせや談笑など気軽な交流を想定しているため、南面の明るい落ち着いたスペースに確保しています。 ●展示は伏見の特性である観光、歴史、産業などの情報提供を重視しながら、市民・区民の発表も想定しています。 ●展示計画は、特別な管理が必要な展示などについては想定していません。			
多目的ホール		評価項目	賛成	反対
考え方	●区役所執務室・窓口に近接しているため、講演・研修の場を想定しています。			
展開	●講演・研修の場の活用を中心としているため、音楽向けの音響、防音等の設備は想定していません。			
	●大規模な講演、研修、展示などにも対応できるように、段差を設けない平らな床にしています。また、広く使いやすくするため、舞台などの固定施設は設置せず、舞台が必要な場合は仮設対応とします。 ●展示機能については、展示パネルや机上での展示を想定しています。			
会議室		評価項目	賛成	反対
考え方	●団体・グループなどが利用できるように多様な会議室を想定するなど、会議の場の提供を基本としています。			
展開	●使いやすさを前提に小・中会議室を中心に構成しています。			
	●予約なしに気軽に使える場所として、オープン会議室を設置しました。			
	●子ども連れや高齢者など幅広い層の多目的利用を想定し、靴を脱いで入る床仕様の会議室を1室設定します。			
	●印刷機能は青少年活動センターの印刷室の活用を想定しています。 ●特定の団体が恒常的に使用することは想定していません。			





**庁舎の周り**の道路の歩道を設ける。特に西、東側は工事中から危険が高まるのでは



ヨガ、太極拳など音の少ない活動にも対応して欲しい

研修、講演以外の使い方も考えてほしい。

ダンスの希望があるのではないかな

講演・研修をもっと具体的にしたいほうが良いのでは？区民ロビーとの関係性を持たせたほうが良いのでは？

**多目的ホール**

壁面に展示しやすい工夫ができればありがたい

ロビーと多目的ホールを連携して使いたい

音楽をするのは他（呉竹）を使って欲しい

プロジェクターの設備をつけておく。OHCの設置。スクリーンの設置

スクリーンは天井より降ろせるように設備する

椅子の出し入れに労力がいるのに、高齢者や障害者は力のいる作業はできない

様々な団体が利用できるようなスムーズな運営をして欲しい

舞台はできれば常設。仮設の場合は簡単に設置できるように

子供（幼児）用ベッドを設置したらどうか？

騒音対策として窓ガラスをペアにしたらどうか？

最低限の防音が効いてないと、使用の幅が狭くなる。現段階では、何に使用できるのかが思い浮かばない

暮らしの知恵、生活上の工夫等の講演など。

**区民ロビー**

観光については情報提供をして欲しい

一定期間経過した企画を更新できる部署が必要。

自販機があればよい

交流やくつろげるような家具の工夫をして欲しい

府下の他都市の情報も発信しても良いのでは？

聴覚障害者のために文字情報を充実（文字放送の設置など）

世代や活動団体の違う人らが“交流”できる交流スペース

展示スペースは談話スペースの中にあり、自然と目に入ってくるレイアウトの方が良いのでは

皆が興味を持って見たくなるような常設展示にして欲しい。どこにでもあるようなものは不要

本当に見て欲しい展示ならもっと見える位置に

大きな喫茶スペースですが、満席にならないければ赤字運営になるのでは

転入者への優しいガイダンスをディスプレイを使ってやって欲しい

総合案内は人の目の届く所に

夜間、展示スペースに展示してある展示物の管理を考えて欲しい

**展示スペース**

展示は子どもでもわかるように

伏見の情報提供を展示だけでなく、“体験”できる企画にして欲しい

手で触れることのできる展示をお願いしたい



社協なども同様のスペースがあるが、一杯で使いにくい

赤外線補聴器がなくてもよい設備の設置。（補聴器にTコイルがない人が多いため）

会議室が増えるのはありがたい

インターネット予約があればいいのでは？

印刷機は交流スペース内に1台は欲しい

オープン会議スペースは自習で埋まりそうな気がするが、OKでしょうか？

皆さんの区役所なので公平に

**会議室**

運営、予約利用管理が難しい

会議室は1階の方が良い

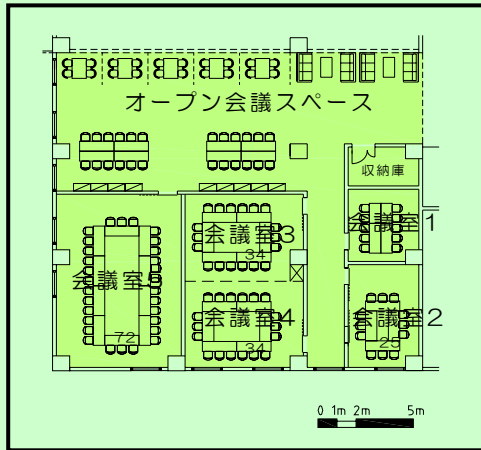
土日をより使いやすくして欲しい

夜も9時半くらいまで使えるように

インターネットにアクセスできる部屋があると便利

印刷室は設けるべき。（青少年と交流スペース両方。または共用できる位置に）

会議室の一室は和室にすべき。（会議室2）



会議室で飲食は出来るのか（定期総合会議等を行うため）？

オープン会議室は土日、夜間も使えるのならOK！

畳に敷物を敷いてもよいのでは？

お茶会の発表や作法の講習等のために、簡易式畳を設置。（持ち運びできる）小学校で利用されている。

コピーは混雑せずに利用できるようにして下さい

湯沸かし器を設置する。または自販機を設置して欲しい。（4F）

オープン会議室当日の受付を設けて、利用時間を管理していく必要があるのでは？

青少年活動センターの開いている時間以外（水曜日）も印刷できるようにして欲しい。



参加者は「3人に1人が20歳代」と、若い人にも多数参加いただきました。

●第3回ワークショップの市民参加者は35名、そのうち20名の方がアンケートに回答されました。回答者は男性が13名、女性が7名で、3人に1人が20歳代でした。今回の特徴はこれまでに比べて若い人が多く参加されたことです。

●参加した感想は、4人に3人が「良かった」と各回ほぼ同じ割合となっています。

●第3回の「良かった」ところや「感想」は……

- ・市民交流スペース、多目的ホールについて、たくさんの意見が出されてよかった。
- ・1回目、2回目の振返りの説明があり、分かりやすかった。
- ・このような場をもって、区民の意見を聞くことは良いと思う
- ・私達の意見が反映される建物が実現されるのはとても嬉しく思います。
- ・総合庁舎のイメージがわいてきた。

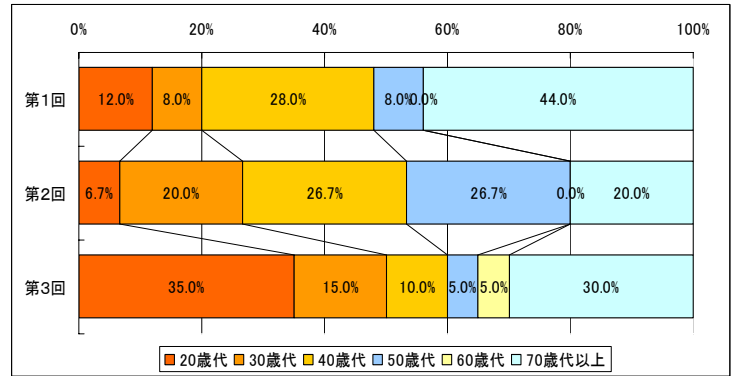


図 ワークショップ 各回別年齢別参加

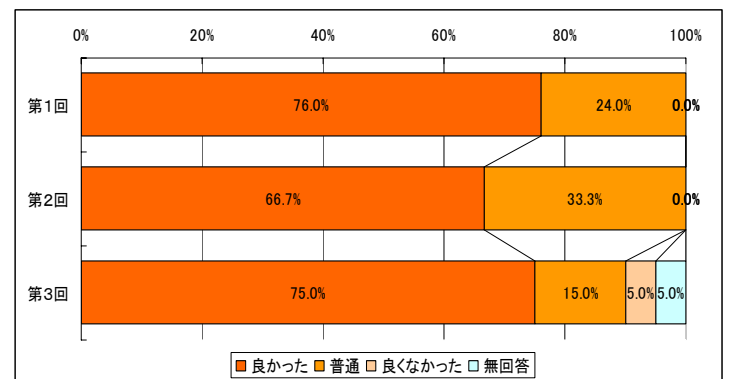


図 ワークショップ 各回別感想

いよいよ最終回です！！

### 第4回ワークショップ

## 「設計図面で確認しよう」

日時:平成20年3月23日(日)14:00~16:00

場所:伏見保健所講堂

ファシリテーター:奈良磐雄京都造形芸術大学教授

#### 実施概要

- 最終回となる第4回ワークショップは、ワークショップでの議論を踏まえ改善できた点を、新旧図面の比較により確認していただくほか、ワークショップ後の新庁舎の姿をアニメーション(動画)や模型により、参加者の皆様に実感していただきます。

#### プログラム(予定)

- 14:00 開会
- 14:03 第4回ワークショップとこれまでのワークショップの振り返り
- 14:20 設計図面の説明
- 15:40 ワークショップのまとめ
- 16:00 閉会

前回ご参加いただけなかった皆さんも参加していただけます。  
最終回となりますので皆さんのご参加をお待ちしております。